

2026 年 10 月 1 日
九州電力株式会社

玄海原子力発電所 3, 4 号機
特高開閉所（500kV ガス絶縁開閉装置）の更新工事について

玄海原子力発電所 3, 4 号機の特高開閉所に設置している 500kV ガス絶縁開閉装置を予防保全の観点から更新することとしました。また、更新に伴い 500kV ガス絶縁開閉装置の設置場所を変更します。

更新工事に向けて、本日、詳細設計である設計及び工事計画認可申請書を原子力規制委員会へ提出しました。

当社は、今後の国の審査に真摯かつ丁寧に対応するとともに、地域の皆さまに安心し、信頼していただけるよう、積極的な情報公開に努めてまいります。

以 上

（参考）

・ 特高開閉所

特別高圧（7kV を超える電圧）の電気を送電又は受電するためのガス絶縁開閉装置等を設置したエリア。（玄海原子力発電所では 500kV 及び 220kV で構成）

・ ガス絶縁開閉装置（G I S）

電気を流したり、止めたりするために、装置内部に絶縁性能の高いガスを封入し、電路の接続や遮断を行う装置。

玄海3, 4号機 特高開閉所 (500kV ガス絶縁開閉装置) 更新工事の概要について

1 概要

玄海原子力発電所 3,4 号機の特高開閉所に設置している 500kV ガス絶縁開閉装置 (以下、GIS) は、運開当時から使用しており、予防保全の観点から更新することとしました。

新しい 500kV GIS を高台(海拔 約 21m)に設置し、既設の 500kV GIS(海拔 約 11m)から切り替える予定です。切り替えに伴い、送電鉄塔も一部ルート変更を行う予定です。

また、更新にあたっては、耐震性の向上に資するよう関連設備の軽量化を実施します。



図1 特高開閉所外観

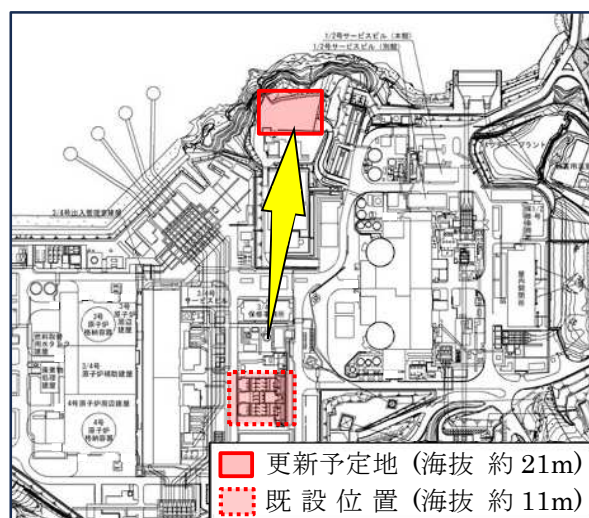


図2 更新予定地

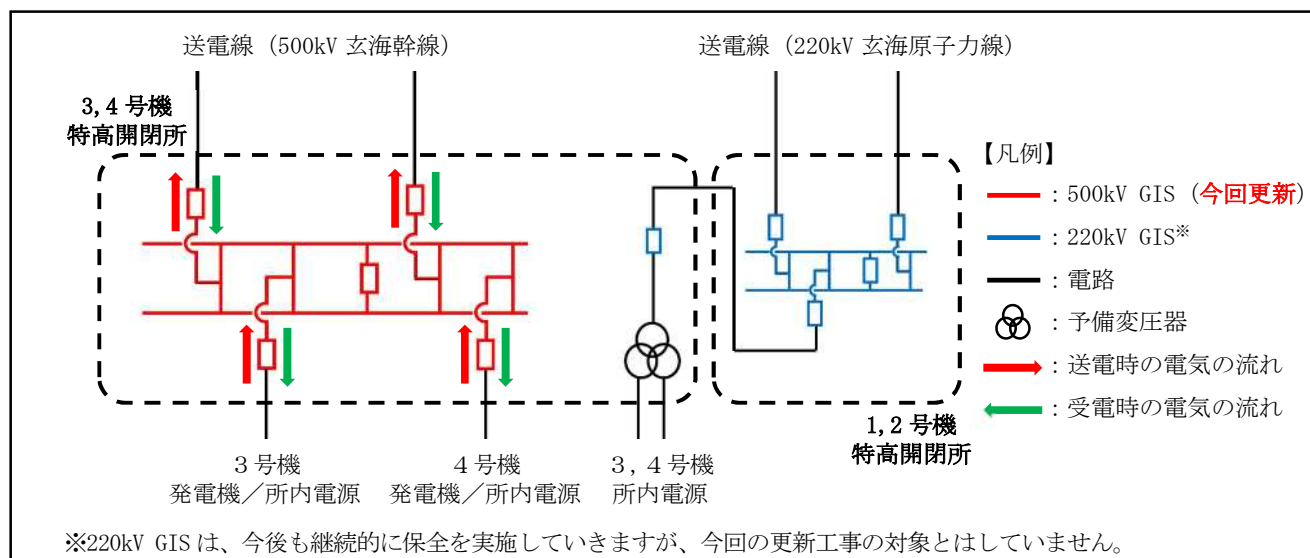


図3 電源系統概略図 (イメージ)

2 スケジュール (予定)

工事着工 : 2028 年度上期

しゅん工 : 2032 年度 (4号機 第22回定期検査)